

第 2 期金沢市特定健康診査等実施計画

【概要版】

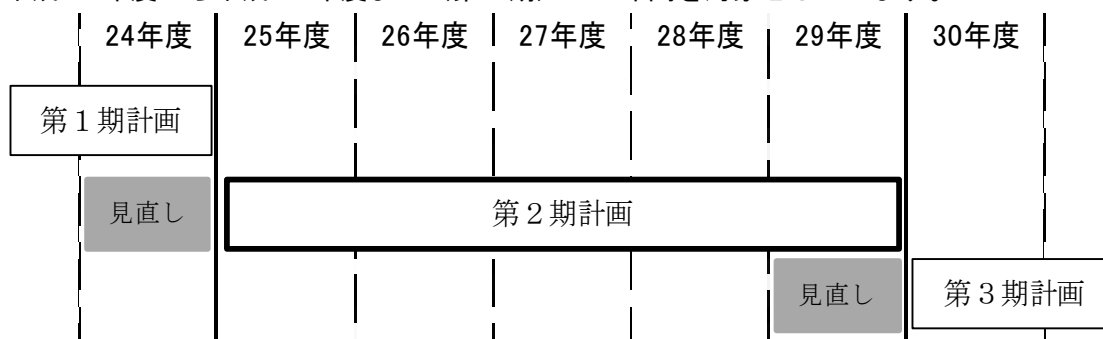
計画について

◇計画の趣旨

金沢市国民健康保険の被保険者における、生活習慣病の予防、早期発見・早期治療及び重症化予防に取り組み、医療費の適正化をめざすため、特定健康診査及び特定保健指導の実施並びにその成果にかかる目標に関する基本的な事項について定めるものです。

◇計画の期間

平成 25 年度から平成 29 年度まで（第 2 期）の 5 年間を対象としています。



金沢市国民健康保険の現状

◇被保険者の医療費の状況

医療費は年々増加を続けており、平成 23 年度は約 391 億円（一般被保険者分約 357 億円、退職被保険等分約 34 億円）でした。また、被保険者 1 人あたりの医療費も同様に増加を続けています。

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
医療費	約 354 億円	約 361 億円	約 379 億円	約 391 億円
1 人あたり医療費	327, 593 円	340, 558 円	350, 730 円	359, 141 円

◇被保険者の診療の状況

平成 24 年 5 月診療分における入院・入院外の医療費は 77, 063 件で約 24. 4 億円であり、うち入院分は 2, 760 件で約 14. 3 億円（約 56. 2%）です。

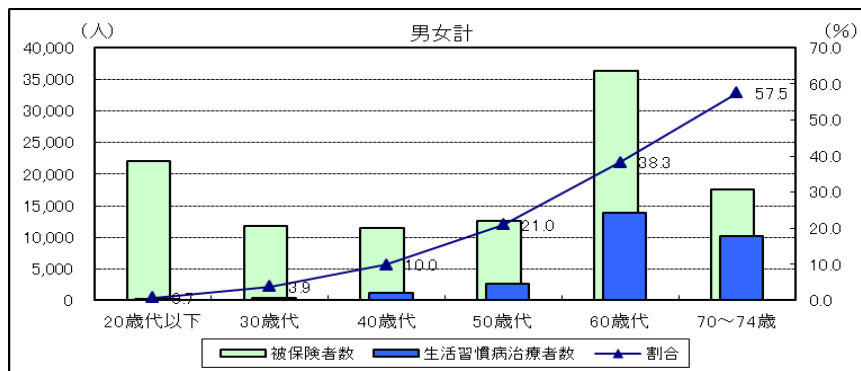
このうち、電子化されたレセプト（DPCレセプトを除く。）について、分析しました。

・生活習慣病による受療の状況

件数については、総数 72, 981 件のうち生活習慣病関係のものが 33, 385 件あり約半数を占めていました。また、1 件あたり医療費は、生活習慣病関係のものが約 3. 1 万円、生活習慣病関係以外のものは、約 1. 7 万円でした。

また、性別による受療の状況は、男女ともに 50 歳代から増加し、60 歳代以上では約 4 割となっています。

■生活習慣病の性別・年代別受療の状況（男女計）



・高額な医療費に結びつく疾患・入院期間が長期となる疾患の状況

1 件の医療費が 100 万円を超える高額レセプトは、253 件あり、そのうち、生活習慣病関係のものは 66 件と総件数の約 26%を占めていました。

また、過去 6 か月以上に渡って入院していたレセプトは 887 件で、1 人あたりの医療費は月平均約 44 万円でした。全件のほぼ半数を生活習慣病を占めており、生活習慣病の重症化は長期の入院へとつながる可能性が高いと考えられます。

特定健康診査・特定保健指導

◇特定健康診査

・対象者

金沢市国保被保険者で特定健康診査の実施年度中に年齢が 40～74 歳である者、かつ当該実施年度の 1 年間を通じて加入している者。

・実施形態

個別方式（医療機関等の施設において、健診の日時を定めず行う形態）による健診と集団方式（健診の日時及び場所を指定して行う形態）による健診を実施

・実施期間

個別方式による健診は、5～10 月、集団方式による健診は、5～12 月

・健診項目

国基準による項目のほか、市民の健康を観点から市独自の項目を追加して実施

◇特定保健指導

・対象者の選定と階層化

特定保健指導対象者の選定と保健指導レベルの階層化を行い、動機付け支援、積極的支援が必要とされた人に対して、特定保健指導を実施します。

・実施形態

金沢市保健師により実施

・実施期間

初回時面接を起点とした 6 か月間

・実施内容

ア 動機付け支援

初回時面接：20 分以上の面接を実施し、対象者の行動目標や行動計画を策定し、生活習慣改善のための取り組みにかかる支援をします。

イ 積極的支援

初回時面接：20 分以上の面接または 80 分以上のグループ支援で実施し、対象者の行動目標や行動計画を策定し、生活習慣改善のための取り組みにかかる支援をします。

継続的支援：栄養・運動等の生活習慣改善に必要な実践的な支援をします。

支援 A（積極的関与）と支援 B（励ましタイプ）を組み合わせ、3 か月以上継続して行います。

評価として、6 か月後には、設定した行動目標の達成状況や身体状況、生活習慣の変化について確認します。

第 1 期における取組と第 2 期に向けての課題

◇特定健診実施率

いずれの年度も 30% 台の前半となりました。一方、実施者数は、年々着実に増加しています。

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
目標実施率	35%	40%	45%	55%	65%
目標実施者数	25,643 人	29,297 人	32,926 人	40,138 人	47,308 人
実績実施率	30.2%	31.9%	31.9%	33.1%	未確定
実績実施者数	20,272 人	21,682 人	22,041 人	23,409 人	未確定

◇特定保健指導実施率

平成 21、22 年度に 10% を下回ったものの、平成 23 年度には実施体制を見直すことで、大幅に増加しています。

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
目標実施率	10%	15%	25%	35%	45%
目標実施者数	544 人	901 人	1,531 人	2,177 人	2,384 人
実績実施率	12.5%	9.6%	8.6%	17.1%	未確定
実績実施者数	305 人	248 人	213 人	432 人	未確定

◇第 2 期に向けての課題

実施率の向上と重症化予防・医療費適正化への取組を一層強化していく必要があります。第 1 期の実施体制・実施方法を継続しながら、新たな取組の実施や既存の取組の改善を行うことで、効果的・効率的な実施を目指します。

第 2 期計画の目標

国が定める目標値に向けて、段階的に引き上げるという考え方を基に、実施率を設定しました。

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
特定健康診査実施率	40%	45%	50%	55%	60%
特定保健指導の実施率	20%	30%	40%	50%	60%
内臓脂肪症候群の該当者・予備群の減少率 (基準年である H20 年度比)	5%	10%	15%	20%	25%

円滑な計画の推進に向けて

◇計画の評価・見直し

目標達成のため、随時、計画の評価を行います。また、計画の中間年度にあたる平成 27 年度には、数値目標などの検証を行い、必要に応じて、計画の見直しを行います。

◇市全体の健康づくりのために

・ポピュレーションアプローチを通じた健康意識の高揚

特定健診・特定保健指導の趣旨や目的、必要性を周知・啓発し、受診を促していくだけでなく、健康に対する意識を高揚し、一次予防により健康状態の維持・向上をしていくことの大切さを普及させることが必要です。

市全体として健康に関する知識や情報の提供、健康教育などのポピュレーションアプローチとの連携により、健康意識の高揚を図ります。

・庁内体制の整備と連携

本計画を着実に進めていくため、金沢市健康プラン 2013 との整合性を図りつつ、庁内の関係各課と連携・協力し、総合的に取り組むことができるように努めます。

また、健康増進法に基づく市民一般の健康づくり事業を展開する衛生部門との連携・協力の強化を図ります。

・他機関・団体との連携

効果的な施策を進めるためには保険者、行政だけでなく、市民、医療機関、各種関係機関・団体の連携・協力が不可欠です。そのため、健康づくりに関するさまざまな取り組みとの連携を図りながら、計画を推進します。